

報告事項

平成22年度生涯スポーツ功労者及び生涯スポーツ優良団体表彰について

平成22年度生涯スポーツ功労者及び生涯スポーツ優良団体表彰について、別紙のとおり報告します。

平成22年10月29日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

平成22年度生涯スポーツ功労者及び生涯スポーツ優良団体表彰について

平成22年10月29日
スポーツ健康教育課

1 表彰の趣旨

地域又は職域におけるスポーツの健全な普及及び発展に貢献し、もって地域におけるスポーツの振興に顕著な成果をあげたスポーツ関係者及び団体を文部科学大臣が表彰する。

2 表彰式

- (1) 日時 平成22年10月8日(金)午後2時15分～午後3時
(2) 場所 中央合同庁舎第7号館3階講堂(東京都千代田区霞ヶ関3-2-2)

3 本県の受賞者(団体)及び功績等

(1) 生涯スポーツ功労者

氏名	椎木 喜久男(しいのき きくお)
役職	鳥取県スキー連盟副会長
主要経歴	平成5年4月～平成11年3月 鳥取県スキー連盟理事長 平成10年4月～現在 鳥取県スキー連盟副会長
功績	鳥取県スキー連盟のアルペン強化コーチとして多くの優秀選手を輩出した。 また、本県選手の育成のみならず、西日本ブロック、全日本アルペン女子でも強化コーチを務めるなど全日本トップ選手の強化に貢献した。 鳥取県スキー連盟の中核として大山国体やインターハイ(大山町で開催)などの全国大会を成功に導くとともに、県内のスキー大会においても企画運営の中心となり、本県におけるスキー競技の発展に大きく寄与している。

氏名	山根 敬一(やまね けいいち)
役職	鳥取県卓球連盟副会長
主要経歴	昭和50年4月～平成20年3月 鳥取県卓球連盟理事 平成20年4月～現在 鳥取県卓球連盟副会長
功績	外部指導者として地元中学校の卓球部を41年余り、高校の外部指導者として35年余り指導を続け、青谷地区を卓球の強豪校に育て上げるとともに、各種全国大会等で活躍する優秀選手を多く輩出するなど競技力向上の観点で大きな功績を残した。 毎月1回、県内の強豪選手を一堂に集めた合同練習を企画し、県外の優秀な指導者を呼んで指導を請うなど競技力向上に寄与した。

氏名	二岡 眞美子(ふたおか まみこ)
役職	(財)鳥取県体育協会副会長
主要経歴	平成14年4月～平成20年3月 鳥取県体育協会理事 平成20年4月～現在 鳥取県体育協会副会長
功績	早くからジュニア体操クラブを設立し、現在ではあたりまえとなっているジュニア期から選手の育成にいち早く取り組み競技力向上の観点で大きな功績を残すなど先見的な取組みを実施した。 県体育協会副会長として本県スポーツの全般の振興に大きく貢献している。

(2) 生涯スポーツ優良団体
ア スポーツクラブ

団体名	あすなるスポーツクラブ(米子市)
代表	代表者 椿 知夫
功績	<p>平成5年に「福米スポーツ少年団」として活動を開始。その後平成14年に総合型地域スポーツクラブ「米子市福米文化スポーツクラブ」を経て平成16年に「あすなるスポーツクラブ」に名称を変更、スポーツ少年団からスタートし、地域へと活動を広げている取組みは、高く評価できる。</p> <p>参加者の利便性や活動内容の重要性を考慮し、無理のない活動をすると共に、設立当初から自主運営を実施し、会費のみで運営する等、地域住民が主体となり運営を行っている。その結果、多くの方々にクラブの活動内容や方針を理解していただき、子どもだけでなく、多くの会員の参加につながっている。</p> <p>高齢者だけではなく、身体障害者や知的障害者の参加も積極的に受け入れるなど、その取組は高く評価できる。</p>

団体名	三洋電機鳥取軟式野球部(鳥取市)
代表	部長 平家 悟
功績	<p>(財)全日本軟式野球連盟主管大会(天皇賜杯全日本軟式野球全国大会・国民体育大会)において、全国優勝3回、準優勝2回、入賞9回と鳥取県軟式野球の発展に大きく貢献し、他の競技団体の模範となるなどその功績は顕著であり、高く評価できる。</p> <p>また、シーズンオフに小中学校の児童・生徒を対象に少年野球教室を開催し、野球の技術のみならず挨拶や礼儀等、マナーや精神面の教育的指導を行い、青少年の健全育成に貢献している。</p>

イ スポーツクラブ以外

団体名	岩美町スポーツ少年団(岩美町)
代表	本部長 寺西健一
功績	<p>昭和41年8月に3団体のスポーツ少年団を県に登録。学校の統合などにより現在は1団体に集約されたが、各種大会への参加を通して技能向上を図っている。</p> <p>スポーツ少年団の理念に基づき、地域で行われる清掃活動等へ積極的に参加し地域に貢献している。</p> <p>また、地域とも連携をとりながら、スポーツ少年団活動が地域活性化に大きく寄与している。指導者、保護者と一緒に取り組むことで、コミュニケーションを図り、青少年の健全育成につなげている。</p>